

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年8月6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872000906		
法人名	東成産業 株式会社		
事業所名	グループホーム いちさと	ユニット名	A
所在地	〒305-0842 茨城県つくば市柳橋122-8		
自己評価作成日	平成22年1月26日	評価結果 市町村受理日	平成22年8月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年3月16日	評価確定日	平成22年7月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>グループホーム いちさと はアットホーム的な施設を目指しております。 私達職員と入居者様との関係を出来る限り親密に家庭的に接し、例えば食事はご本人が望む時間に摂って頂いたり、事務所には入居者様が自由に入出りできる状態にしております。 1日1日の時間がゆったりと流れ、生活に慌ただしさなど感じさせないよう心配りをいたしております。 このことが施設をご自分の家のように思ってもらえると考え実践しているところです。 この考え方はいちさとの理念にも盛り込んでいます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は地域住民を招いて救急救命研修や見学会を開催するなど日常的に交流している。 職員の入れ替わりが少なく担当者制を取り入れているので、職員は利用者一人ひとりをきめ細かく観察し把握している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	新しく覚え易い理念に添って実践している	全職員で考え分かり易く覚え易い理念を玄関や事務室、職員休憩室、厨房などに掲示し朝の申し送り時に唱和するとともに共有し実践につなげているが、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念とはなっていない。	理念に地域密着型サービスの意義を踏まえた内容を加えることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	玄関、キッチン、ヘルパー室等に理念を掲げ家族の方、地域の方に見て頂き施設行事の時は勿論の事、普段でも子供たちや近所の方が立ち寄っている	日常的に近隣住民や子ども達が事業所に来訪し利用者と交流しているほか、地域の行事や小学校の運動会など積極的に参加している。事業所は芋煮会や救急救命講座などを開催するとともに、運営推進会議やチラシで地域の人々に参加を呼びかけている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎日の生活の中へ招き入れ一緒にレクリエーションやお茶等地域の皆様と共有している		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価の結果に基づき運営推進会議などにおいて報告し、ご意見を出して頂きサービス向上に取り入れている	運営推進会議は利用者及び家族等の代表、市職員、民生委員、施設長、管理者、介護支援専門員で2ヶ月に1回開催している。会議では外部評価結果や感染症、行事などその時々課題を話し合うとともに情報交換をしているほか、出た意見や要望をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議、グループホーム連絡会あるいは施設として連絡を密にしてより良い協力関係を築けていると思います	グループホーム連絡会や運営推進会議で市担当者と情報交換したり、様々な手続きの際に市担当課に立寄り話す機会を多く設けるほか、介護相談員を受け入れ協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	いちさとは職員が拘束を行わない事を理解しており時には研修へ参加したりしてその意識の向上に努めている。私達施設では「虐待、拘束を絶対にやらない」をモットーにしております。	身体拘束及び行動制限防止マニュアルを作成するとともに、職員は虐待防止や身体拘束廃止に関する研修を受け意識向上に努めている。やむを得ず身体拘束をする場合は家族等の同意を得るとともに経過を記録し、身体拘束をしなくて済むよう検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンス会議やミーティング等あるいは勉強会で話し合った事を施設に持ち帰り、全員が理解し防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	家族、職員で話し合っている、身近な家族がおられない方は電話で家族と、制度の活用について話し合い結論をだしている。成年後見制度等の講習について職員に参加させている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約書の内容を良くご説明して理解を して頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	3ヶ月に1度の家族会や毎月の支払時に ご家族のご意見を聞かせて頂き取り入れられる事は早目に取り入れるよう迅速に行っている	玄関に意見箱を設置するとともに重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 家族会を3ヶ月に1回開催したり、家族等の来訪時に意見や要望を聴くよう努めている。 意見や苦情があった場合は受理書を作成し改善策を検討するとともに、経過や結果を家族等に報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	特にカンファレンスの時に話し合い問題が 起きたときは随時に知らせ問題の共有を図っている	管理者はカンファレンス時に職員の意見や要望を聞くほか、言い易い雰囲気づくりに配慮している。 出た意見や要望はミーティング時に話し合い、課題の改善に努めている。 勤務体制や外部研修受講などは、可能な限り職員の希望を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の希望による勤務日、時間、環境等 ストレスの掛からないよう努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設として機会あるごとに研修に参加する様 勧め介護職員間のレベルの均衡を図るように している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	つくば市では毎月、地域密着型サービス連絡 会を行い年間スケジュールを組みその中で 勉強会を行っている、情報交換も高密度に 行っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に伴い不穏状態が出現しない様 十分に気配り、心配りをしながらコミュニケーションを図っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意見を良く傾聴し不安が起きない様 説明し、理解して頂いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の意見を良く聞きサービス開始をするに 当り、例えば主治医に今までどうりに掛かり たい時は通院や往診を交渉したりしてご家族 本人の希望に添えるよう努力している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の生活において利用者様と同じ目線で レクや散歩、お茶の時など共に時間を共有 して過ごしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関係は普段から密にし問題点があれば良く話しあい、ご報告し解決している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室にはご本人のお気に入りの物を持参して 頂いたり、趣味の物あるいは好きな民謡、浪曲、落語、昔の歌等を居室で聞けるよう CDを用意したりして援助している	職員は馴染みの美容院や親類の葬儀への送迎など、利用者の思いや希望にそえるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士居室やリビングを利用して日常の 四方山話をされている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居者に対して訪問し現況確認を行い相談に 応じている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その時々の状態や体調に合わせ時間にとらわれず個別に支援をしている	職員は利用者一人ひとりを支援していく中で、思いや希望など気付いたことを連絡ノートに記録し全職員で共有している。 意向の把握が困難な利用者の場合は、契約時に確認した生活歴を基に検討したり、職員が密に係わることで意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	過去の生活歴を家族からの聞き取りにより把握し、それに沿った対応を家族と話し合いながら支援している	/		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	身体の状態は毎日のバイタルチェックから把握し心状態は外見から判断し、無理の無いよう出来る事は自由にやって頂き協力の必要なことは協力して差し上げている			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスや毎日の生活の中で出た問題点はその都度ミニカンファや家族と意見の交換を行い計画作成に活かしている			3ヶ月毎にモニタリングを実施するとともに、6ヶ月毎に介護計画を見直している。 担当者制を取り入れているため利用者一人ひとりを担当職員がしっかりと観察することができ、現状の変化や新たな課題が生じた場合はその都度家族等と話し合い見直している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員間の連絡ノートに些細な事でも記入し 全員が情報を共有して実践している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員の把握により嘱託医や家族への通報等で 病院受診を行う時、ご本人の外出希望、地域行事への参加等随時行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方とも顔馴染が出来挨拶なども親しく 交わしておられる、散歩の時など立ち話などもされている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当施設の嘱託医は月2回の往診を実施して 下さり、体調の変化があれば随時往診をして いただけるのでご本人、ご家族共に安心と 考えております	利用者や家族等の希望するかかりつけ医を受診できるよう支援しているが、殆どの利用者が月2回協力医による往診を受けている。 歯科や皮膚科は家族等に連絡し承諾を得てから受診するよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の採用や訪問看護師との契約もまま なりません、そのため嘱託医との連携を密に して普段より医師の指導を受けることにより 利用者の状況を的確に報告できるよう努めて おります ※訪問看護師センターにははたらき掛けています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者の直近の状況について詳細な情報を提供し又入院中の情報の交換も密に実施している、更に退院の時は病院からサマリーを発行して頂き施設に帰った後の介護に活かしている。これにより病院の信頼も得て空き室状況の問い合わせも多くなりました。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設では重度化や終末期の看取りに係る指針を作成し同意書に署名を頂いている。そのような状況が起きればその都度家族、医師、介護者の三者で話し合いを行います。家族の理解、希望を尊重し方針を決定します	重度化や終末期に向けた指針を作成するとともに、契約時に利用者や家族等に説明し同意書を得ている。利用者の状態の変化に応じて家族等や関係者と話し合い医師の指導のもと看取りまで支援している。看取りの時期には家族等が24時間付き添えるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	昨年7月につくば南消防署の応援を得て近所の方や地区長さんなどの出席も有り総勢12名が普通救急救命の講義を受講し出席した介護者の初期に於ける応急手当能力を向上させました、今年度も実施予定有り。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設独自の避難想定訓練や消防署指導による非難訓練を実施し入居者様にも参加して頂いている。	消防署指導による避難訓練や事業所独自の避難訓練を定期的実施している。災害時に協力が得られるよう運営推進会議で地域住民に避難訓練への参加を働きかけているが、参加を得るまでには至っていない。食糧や飲料水を備蓄するまでには至っていない。	引き続き地域住民に避難訓練への参加を働きかけるとともに、災害時に備えて食糧や飲料水などを3日分程度備蓄することが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報等の守秘義務を厳守することを徹底。 ネームプレート、写真の掲示等情報開示の承諾書を作成し署名して頂き了解を得ている	居室のネームプレートや写真の掲示、広報誌やホームページへの写真の掲載については家族等に説明し承諾を得ている。 職員はさりげない言葉かけに心がけ、利用者のプライドを損ねない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションに於いて十分な意思の疎通を図り、本人の思いを受け止め意思を表すことができる様、働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	普段のカンファ等により、人は10人10色であり入居者もそれぞれがその日その日で心の持ちようが違います、そのことを職員が良く理解するよう指導し実践している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個人個人の希望を取り入れ買い物等に同行してお好きなものを買って頂いたり、美容院等送迎したり応援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の皆様には食事の前のテーブル拭きや配膳など出来る範囲のお手伝いをして頂き少しでも食事が楽しくなるよう考えている更に施設では誕生会にご本人の希望の食事を提供し喜んで頂いている。	利用者一人ひとりの起床時間や生活パターンに合わせて自由に朝食が摂れるよう支援するとともに、日曜の朝はパン食にし、利用者は職員と一緒に毎週買い物に出かけている。昼食時利用者はできる範囲でテーブル拭きや下膳などを手伝っている。利用者の食事形態に応じ、刻みやペースト状にして食事を提供している。誕生日には利用者の好みの食事を用意し、楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量の表を作成し一人一人の摂取量を把握して対応している、個々の状況により刻み食、ペースト食の提供も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1日3回の口腔ケアと義歯の夜間洗浄を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し個々のパターンを把握し時間を見て誘導し自立に対しては見守り一部介助の支援を行っている。	職員は排泄チェック表により利用者一人ひとりのパターンを把握するとともに、早目のトイレ誘導や見守りを行い、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を作成し食事量、水分摂取量から判断し運動、散歩等心掛け場合により、医師の指導により薬対応を取る。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴表にそって行うが本人の希望や体調により入浴して頂いている。	入浴は週2回から3回、午前でも午後でも希望にそって入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	部屋の温度調整に配慮し安眠できる環境を整えている、日中の適度な運動、散歩等を取り入れている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指導、薬剤師の指導の基に管理、服薬介助等行っている、処方薬に関しては職員全員が把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味（短歌、民謡、浪曲、書写、紙細工、草取り、畑仕事、洗濯）等の支援見守りを実行している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望あるときや、定期的な買い物への同行をお誘いしたり出来るだけ外出出来る様支援している、更に地域の行事へ参加している。(小学校の運動会、敬老会等)	利用者は毎日散歩に出かけたり、日曜の朝食用のパンを買いに毎週1回交代で出かけているほか、店でアイスクリームやコーヒーを楽しむ利用者もいる。 外出したがる利用者には誘い方を工夫し、散歩に出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物は現金をお渡しして自由に使えるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎月のいちさと便り、年賀状の作成(本人)あるいは家族会の際対面して頂く。電話は本人の希望あれば使用して頂きます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔に心掛け常に安全であり、室温に気配りし季節感を出し居心地良く過ごせるように工夫している。	居間に行事の写真や、利用者と職員で作った季節の飾り物を掲示するなど、季節感を取り入れ家庭的な雰囲気となるよう工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士でのおしゃべり、お互いの居室等 往来している事を見守りながら支援している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	プライバシーに配慮し安全、清潔に過ごして 頂けるよう気配りしている。天気の良い日は 布団を干して換気や温度調整をこまめに行うようにしている。	居室は清潔を心がけ喚気にも気配り をしている。 利用者は居室に馴染みの物品や仏壇 などを持ち込み、自宅で生活している のと同じように居心地良く暮らせる よう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の分らなくなる方へは入り口ドア ーに大きく名前を掲示したり、トイレ の表示、入浴時の段差や滑り止め等 安全に使用できるよう工夫や誘導を 行っている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム いちさと

作成日 平成22年8月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に地域密着型サービスの異議を踏まえた内容を加えることを期待する	地域との交流を更に深める	運営推進会議のメンバー様の暖かい応援を得て行事等に地域の方々の参加を促していく	理念の一部を変更した、行事その他の拡充は時間が掛かると思います
2	13	引き続き地域住民に避難訓練への参加を働き掛ける 災害時に備えて食料や飲料水などを3日分程度備蓄することが望まれる	地域の方々と共同で避難訓練を行う	更に声掛を多く行い実施日など考慮し参加しやすくしていく	半年から1年で実績を上げたい
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。